



女性目線の企業紹介

## い~コトなび

身近な会社の  
ちょっといい話を  
集めました。

### いーコトなび

発行：株式会社さがみはら産業創造センター SN Laboプロジェクト

連絡先：〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21

電話：042-770-9119（代）

発行日：2013年3月1日

## 身边な会社のちょっといい話を集めました

- 株式会社シンフォディア・フィル ① 未来の技術と人材を育てる
- オーパック株式会社 ② 信頼される会社づくり
- ペンニットー株式会社 ③ 将来を担う後継者を育成
- 南蛮屋株式会社 ④ 小さなせいたくを売るお店
- 株式会社コスマプリント ⑤ 女性の活躍できる場
- 株式会社コンタクト ⑥ 飽くなき挑戦
- 株式会社相模カラーフォーム工業 ⑦ ひとづくりからものづくりへ
- 田中水力株式会社 ⑧ 新視点での企業展開
- 久保田酒造株式会社 ⑨ こだわりを貫き通す
- 株式会社ユウキ工業 ⑩ 女性の感性を仕事に活かす
- 株式会社大和ケミカル ⑪ 会社、地域、世代をつなぐ人間の絆
- 株式会社 ハウ ⑫ 安心して働ける環境づくり
- 蒲田ゴム株式会社 ⑬ 求めるものに応えていく姿勢
- 株式会社F-Design ⑭ ビジョンの実践
- ベストトレーディング株式会社 ⑮ ニーズから辿り着いた企業理念
- 株式会社プランテック ⑯ オンリーワンビジネス
- 株式会社協和精密工業 ⑰ 技術を売る会社を目指す
- 株式会社オーエイ ⑱ 技術と人間性を高める



### はじめに

いいコトしている！おもしろいコトしている！

企業を訪問してそう感じることは多い。これらの企業の魅力を女性の視点を通して、女性の柔らかい言葉で分かりやすく紹介するはどうか……

ということで、7人の女性ライターにより取材を開始しました。人を育てる、技術を高める、社会に貢献する。それぞれの企業がそれぞれにこだわりを持って経営をしています。

身近にい～コトをしている企業はたくさんあります。もっと“企業を多面的に見る”。就職活動をする際にそんな視点を持っていただければ視野は広がります。コーヒー片手に、気軽に企業訪問をしてみてください。



「どんどんチャレンジしてほしい」と熱く語る滝口代表（右）。未来を育てる活動の根底に、そんな想いが流れています。

たって「若い世代の考え方を  
も知りたいし、心が通じ合  
えたら嬉しい！」そんな想  
いもあるそうです。その中  
で滝口代表がインターネット上  
に求める条件は「何でも樂業  
しんでできる人」。実施期  
間中は、チャレンジしてい  
るいろいろな経験をしてもら  
う。経営理念の一つ「やるから  
には、とことん樂しんで作  
業を行ふ」を実践してもら  
います。

次に、小学生を対象にした親子参加ワークショップ（複数企業参加）のお話を聞くと、「子どもたちが楽しんでくれることや、いつもとは違う親子のコミュニケーションが取れていることが嬉しい」、「これまでお付き合いのなかつた異業種の企業とプロジェクトを進めることで、それぞれを理解し合いたいながら、新しいつながりを築けます」とお話してくださいました。経営理念の一つに掲げている「どんなときでも、人と人のつながりを大切にする」は、滝口代表をはじめ



株式会社シンフォディア・フィル  
神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21 SIC1-213  
TEL 042-770-9405 FAX 042-770-9406  
<http://www.symphodia.co.jp/>

は取材させでいたたいた。七畠友夏さんは文系出身ながら、今では設計の仕事をバリバリとこなしています。そのような社員の成長をみるのも楽しみで、自分もがんばれると話してくださいました。

また、大学での講義(技術教育)や山形大学から始まつたインターーン(現在は三つの大学からインターーンを迎えている)、小学生を対象にし

次世代育成への想い

た親子参加「パークシミット」など  
未来を育てる活動の根底にも  
“チャレンジしてほしい” という  
想いが流れているのです。

たれど、もつてゐるのだろうつ、「どうした  
ら彼らの良さを引き出せるのだろう」といふ「いつもも考えます」と答えて  
くださいました。また、社内では、  
さまざまな作業を行ひながら、彼ら  
が何かに気づいてくれたらしいな  
と常に考へているそうです。イン  
ターンの方々は、最初、不安まじ  
りの硬い表情で来るけれど、社員

未来に向かって  
技術と感覚の調和を創出するシンフォニア・ファイル。  
「満足したらそこで終わってしまふ」  
次に向かつて “こうしたい” といふのが大事。」



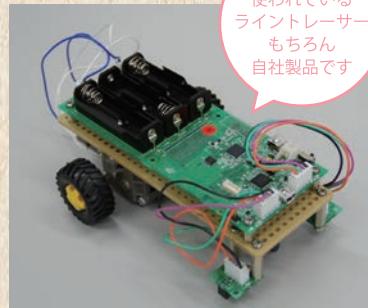
## 株式会社シンフォディア・フィル

# 未来の技術と 未来の人材を 育てる

取材・文 高橋 晴子

失敗を恐れずは  
チャレンジしてほしい

滝口代表は、日本電気株式会社(NEC Corporation)でパーソナルコンピューターの設計などを手がけていました。社内では「先輩方から『どんなん』ことにもどんどんチャレンジしなさい。経



教材として  
使われている  
ライントレーサー<sup>®</sup>  
もちろん  
自社製品です。

株式会社シンフォディア・ファルの会社名は、シンフォニーとメディアを足して生まれたものです。音をうまく組み合わせて心地よい音楽を創り上げていくように“人と人”“人と技術”を融合して五感に関わるものを作りたい、という想いが込められています。

当社は、ものづくりが大好きな滝口代表取締役が立ち上げた、センサを基軸にしたモジュールや、次世代情報端末とクラウドサービスに向けたソリューションの研

「験しなさい。」と、常に言われて、たそうです。大企業にいながら、設計から世の中に流れる作業までのすべてを、若くして経験させてもらえたことや、失敗してもチャレンジできたことが、その後スペインアウトして立ち上げた当社に大きく影響しています。



10人程度の小組織を作り、部門別採算性をスタートさせました。部門別採算とは、粗利(ここでは人件費を除外した部門ごとの収支)を持ち時間(ここでは部門ごとのトータル勤務時間)で割ったもの。その数字を、部門ごとに京セラの指標と比較して分析し、競争させるのです。

京セラの部門別採算では、「組織人口は少ないけれども少ないほど良い」と言わ

れています。人が多いと傍観者が出て、ベクトルを合わせることが難しくなるからです。

こうした取り組みにより、社内にいくつもの工場や社長が生まれ、さまざまなかたちで各自が一層シビアに数字を意識する

10人程度の小組織を作り、部門別採算性をスタートさせました。部門別採算とは、粗利(ここでは人件費を除外した部門ごとの収支)を持ち時間(ここでは部門ごとのトータル勤務時間)で割ったもの。その数字を、部門ごとに京セラの指標と比較して分析し、競争させるのです。

京セラの部門別採算では、「組織人口は少ないほど良い」と言わ

れています。人が多いと傍観者が出て、ベクトルを合わせることが難しくなるからです。

こうした取り組みにより、社内にいくつもの工場や社長が生まれ、さまざまなかたちで各自が一層シビアに数字を意識する

など、変化が見受けられるようになりました。製造現場の各部門がコスト計算をすることはもちろん、材料などを購買部に発注する際、いくらのものを何時までに手配するか指定もします。部門ごとに生産計画を立てて生産することで、部門別採算を確立していくのです。

これは文字段どおり社内での取引(売買)を行うことです。例えば、製品を後工程に回す際に、みずから部門の利益を上乗せして、相手(後工程の部門)へ売るのです。これにより部門別に利益を生むことができます。また、外部からの注文が減少した場合には、違う部門へ手伝いに行きます。“手伝いに行く”“みずから”的の部門の持ち時間を売ることになるので、粗利が落ちても同時に持ち時間を減らせる、結果的に採算性を落とさなく

ります。また、それまでは縦割り構造になりました。製造現場の各部門が自分たちの仕事が終われば、他の部門へ目を向けることがなかったのですが、忙しい部門を手伝う(時間)をすることで、部門間でのコミュニケーションが増えるといった副次的效果も生まれました。

「続けてきたことで、今ではあたりまえのことになっている」と境常務。部門別採算から波及した仕組みがすっかり浸透し、今では社員がみずから考えて動く組織ができるのです。



オーパック株式会社  
神奈川県大和市深見東1-3-6  
TEL 046-261-9340  
FAX 046-261-3337  
<http://www.aupac.co.jp/>



世界の大企業より送られた数々の認定証や感謝状。オーパックのカーボンブラシは、世界中のモーターで使われています。



## オーパック株式会社 信頼される“会社づくり”とは

取材・文 高橋 晴子

私たちの日常生活で、さまざまなものに使用されているモーター。自動車・掃除機・パソコン・ドライヤーなど、どれも欠かせないものばかりです。そんな世界中のモーターの基幹部分に使用されているのが、カーボンブラシといわれるものです。そのカーボンブラシを、創業以来、一貫して製造・販売し、40年連続黒字を継続しているオーパック株式会社。社員ひとりひとりが、緊張感と毛チバーションを持続させる当社の取り組みを、境君夫常務取締役に聞きました。

創業者である諫佐武氏は、社員教育に大変熱心であり、また大変な勉強になりました。そのようなときに、諫佐氏が京セラ創業者である稻盛和夫氏のアメーバ経営に関する本を読み、「部門別採算」への興味を抱いたことで組織改革に着手しました。まず、社内全体を管理・設計・製造部門などの機能ごとに分けて

20年ほど前、会社は百人規模に成長しました。しかし、それがかえって足かせとなり、会社の活性が社員にうまく伝わらず、目標すべきベクトルがバラバラになってしましました。そのようなときに、諫佐氏が京セラ創業者である稻盛和夫氏のアメーバ経営に関する本を読み、「部門別採算」への興味を抱いたことで組織改革に着手しました。まず、社内全体を管理・設計・製造部門などの機能ごとに分けて



常務取締役の境君夫氏。本社の改革を成功させると共に中国大連工場立ち上げの立役者です。

### 会社の基本の“人づくり” 組織づくり

当社の経営者が重視する、社員のモチベーションを維持する“人づくり”的の想いと、明確に採算を把握できる柔軟で働きやすい組織づくり”が、常に黒字で躍進する当社の原動力であるといえるのではないかでしょうか。

また、それまでは縦割り構造で、自分たちの仕事が終われば、他の部門へ目を向けることがなかったのですが、忙しい部門を手伝う(時間)をすることで、部門間でのコミュニケーションが増えるといった副次的效果も生まれました。

「続けてきたことで、今ではあたりまえのことになっている」と境常務。部門別採算から波及した仕組みがすっかり浸透し、今では社員がみずから考えて動く組織ができるのです。

### “人づくり”+“組織づくり” II信頼される“会社づくり”

「今は」き創業者の諫佐氏は、会社

を子どものように思っていた」と、境常務は言います。わが子を育てるように、社員と会社を育て、その想いは企業理念となつて連綿と深く根付いています。

創業から半世紀。

# 次世代を“育てる”ことがキーワード 将来を担う後継者を育成

取材・文 古賀千根

## 後継者育成のために

「自分がやりたいことを誠心誠意込めて行動に移せば、必ずできるはずですよ」

晃次特別顧問。ペニットー株式会社は、相模原市中央区にあるフッ素樹脂チューブ製造販売の会社です。社員は15名。納入先には株式会社カネカや東京エレクトロン株式会社など大手企業の名前も並んでいます。

できる能力を大切にしています。

仕事の概要を答えるときには、自分の言葉を使うことが重要であると内山顧問は語ります。本を読むことは大切ですが、ただ読んでいてもダメ。時にはコミュニケーションやリーダーシップについて30字にまとめて出せ、というような宿題を社員に課すこともあります。読むだけだと身につきませんが、30字にまとめ、アウトプットすることで理解が深まるからです。このように、社員に教えるために内山顧問みずからも真面目に考へてきた結果、独自の教育法を編み出しました。

## 教育法① 明確な目標設定

一つ目の独自教育は、“職務分掌”というものです。営業部長には営業部の仕事、工場長には工場長の仕事、製造部長には製造部長の仕事の仕方があります。それぞの職務を文章化し、社員が将来どのようになりたいか、明確な

目標を立てるための指標としています。40歳になつたときのことをあなたは具体的に想像できますか？結婚して子どもたちは小学校や中学校に通っています。そのとき仕事はどうなつてているでしょう。製造部長を目指すのであれば、若い時期から製造部長になるための勉強

## 教育法② 説明をする能力

二つ目に“理解する”ことを重視した教育を行っています。たとえば、工場長が品質管理や品質保証について質問されたとき、説明できなければ工場長は務まりません。営業であれば、マーケティングを説明できなければ営業ではないと内山顧問はお考えです。つまり、理解しているだけでなく人に説明



創業者の内山晃次特別顧問。



自由に使える読書スペース。

## “育てる”というじこ

て会長や顧問を務め、地域のソフトボールチームのコーチをされたこともあったそうです。また、インディアカ（羽のついたボールを打ち合う団体競技）の普及のために、ご家族で活動されていたこともあります。リーダーの役割は組織をリードすること。頼まれてやるのではありません。リーダーシップは他の人々を先頭で引っ張ることです。“育てる”ことが内山顧問の人生のキーワードとなり、社外でもスポーツを通して子供たちとふれあい、育てているのです。



ペニットー株式会社 相模原事業所  
神奈川県相模原市中央区田名塩田1-2-6  
TEL 042-777-3112 FAX 042-777-3101  
<http://www.penn-nitto.co.jp>

フッ素樹脂  
チューブ

内山顧問は仕事以外でもお忙しく活動されています。多摩市のスポーツ振興会に発足時から参加し

大人として恥ずかしくないようないい間に成長してください」と、新入社員が入るたびに内山顧問は伝えていました。掃除は全員で毎日取り組むとのこと。さらに内山顧問は緑が大好き。植物があると落ち着くそうです。植物を育てるには愛情がいるのですが、一日一回見てあげればしっかりと育つとおっしゃっていました。





「今日はどの珈琲豆にしよう？」  
楽しそうな会話が聞こえています。



平井会長の想いが、店づくりの原点になっています。

「お客様には『あの店に行けば何かあって楽しい。また行ってみたい』と思ってほしい。」

時代のニーズを読み、人々に美味しい珈琲を飲んでもらうため、平井会長率いる当社は、しなやかに事業内容を進化させていきました。

感動が生まれる接客と楽しい店づくり

陶器の器でおいしい珈琲を試飲する、ついつい時間を忘れて長居をしてしまいます。

「ゆっくり接客をし、お客様の滞在時間を長くすることで、外にいる人が入りやすくてあげないとね。実はそんな心づかいもあつたのです。」

「珈琲豆を試飲させて小売りしようと」と、小田急相模原に当社一号店をオープンさせたのです。

例えば当社では、珈琲豆をガラス瓶に入れてディスプレイしています。焙煎具合や豆の違いを見てもらしながら、選べる楽しさがあります。焙煎次第で珈琲豆がとても美味しいな、と納得ができるものです。

他社にはないこだわりのお菓子類

は、一度口にすると「やっぱり南

珈琲豆もお菓子も他社のものと比べると高く、小さぜいたくだけれど、お客様は喜んで買ってくれます。

おもてなしの心を感じながら、

珈琲豆もお菓子も他社のものと比べると高く、小さぜいたくだけれど、お客様は喜んで買ってくれます。

珈琲豆を生産できる気候は限られますが、収穫量は限られる。それ

が当社の規模であれば国産・有機栽培をうたって販売するのに丁度



南蛮屋株式会社

# 小さなぜいたくを売るお店

取材・文 高橋 晴子

皆さんどこで珈琲豆を買いますか？私はこれまで外國製の缶やチーン店の量り売りを、なんとか買っていましたが、今回ご紹介する南蛮屋株式会社を知つてファンになりました。

当社は、珈琲豆量り売り専門店を国内30カ所で営んでいる企業です。

訪れるお客様を幸せにしてくれる、そして従業員にも愛される南蛮屋のお話を、平井誠一郎代表取締役会長に聞きました。

## 美味しい珈琲づくりに夢中

平井会長が珈琲に携わるようになつたのは、焙煎などの設備器具を販売する会社に就職したことから。ここで焙煎次第で珈琲豆がとても美味しいな、と納得ができるものです。

南蛮屋の原点となつたミル。

味には自信あり。同じ値段であれば他社には負けない！」

企業を訪問し、抽出道具を持つて目の前でドリップして飲んでもらうスタイルで営業しました。こうして徐々にオフィスや業務用のお客様を勝ち取つていきますが、業者とのしがらみもあり業績は伸び悩みます。

「では、一般消費者を相手に、美味しくなることを学ばれました。美味しい珈琲を追求した結果、みずから会社を立ち上げ、粉碎時に微粉と没皮を取り除く画期的なミルの設計・販売を始めます。すべて手づくりのミルは、業界専門誌で取り上げられるほどの注目商品となりました。

美味しい珈琲豆がつくれるようになつた、次は美味しい珈琲を売ろう！」ミルの販売会社から珈琲豆の販売会社へと転換します。

味には自信あり。同じ値段であれば他社には負けない！」

企業を訪問し、抽出道具を持つて目の前でドリップして飲んでもらうスタイルで営業しました。こうして徐々にオフィスや業務用のお客様を勝ち取つていきますが、業者とのしがらみもあり業績は伸び悩みます。

味しくなることを学ばれました。美味しい珈琲を追求した結果、みずから会社を立ち上げ、粉碎時に微粉と没皮を取り除く画期的なミルの設計・販売を始めます。すべて手づくりのミルは、業界専門誌で取り上げられるほどの注目商



将来の夢は、国産直営農園で珈琲豆を生産すること

「自分がおこなつことに、感動してもらうことや喜んでもらえることが、スタッフは何より嬉しいんだよね」と平井会長はお話をされます。

定年退職を迎えた後、農園で余生を過ごしたいといつ平井会長。いつか南国の農園で珈琲豆をつくる会長を訪ねて行きたい、心から思いました。



南蛮屋株式会社  
神奈川県厚木市関口 798  
TEL 046-245-7900 FAX 046-245-9655  
<http://www.nanbanya.co.jp/>



知恵と工夫でお客様の期待に応えようと取り組んでいます。  
職人技とデジタル設備の整った元気な印刷工場です。

二つ目に男女平等の体制作りに取り組んでいます。構築に取り組んでいます。諸事情による急な休みなどにも対応できるよう、「万能化運動」と名付けた「すべての仕事を二人体制にする運動」を推進中です。また、育休・産休の制度のほか、隣には共同組合Sia神奈川で働く人のために作られた保育所『おひさま園』もあり、家庭と仕事を両立できる環境があります。まだうまく活用できている訳ではありませんが、少しずつ体制を作っているところです。「サ

越えて“仕事としてやうなれば”という責任感が全体に生まれたと話してくださいました。こうした状況が、新しいことに次々とチャレンジしている当社の原動力になつていて、新規の取材をさせていただき感じました。

一つ目に男女平等の体制作りに取り組んでいます。仕事も給与も平等。責任もチャンスも平等。雇用に関する評価も平等にしたそうです。昨年度は定員2名の採用枠に20名を超える募集がありました。面接において圧倒的に女性のほうが多いかりしていたこともあり、結果、女性を2名採用しました。

“女性の活躍できる場”を作るために



## 株式会社コスマプリント

# “女性の活躍できる場”が会社のチャンスを切り開く



取材・文 高橋 晴子

「やりましょう!」と  
まず手を挙げてくれた女性

女性の能力を積極的に評価している山本有司代表取締役に、きつかけとなったエピソードをお聞きしました。

かつて当社では、今ほど多種多様な印刷案件に対応していました。短納期のものや製本過程で面倒な工程が多く難易度の高い模原の工業団地『協同組合Sia神奈川』へ工場を移転。設備や人材を増やしました。それに伴って女性の比率も増え、現在では半数が女性です。女性が活躍できる場を作ることで、コミュニケーションが活発になり、上下の枠を飛び、事業が拡大していく、3年前に相

思いを持っていて、何とか対応できないかと頭を悩ませていたのです。そんなとき、「やりましょう!」と、まず手を挙げてくれたのが女性の熟練工の方々でした。経験に基づくさまざまな技術・工夫を持っている、「こうすればできるのよ」と見せてくれるちょっとした工夫の数々に、「たのもしい」と思ったのです。そのような経緯が、当社の“まず無理とは言わない”と見せてくれるちょっとした工夫の姿勢に繋がっています。

お客様の要望に応えていく中で、この姿勢は確実に成長を続けています。成長の根幹には社内でイキイキ働く“女性の力”があり、そしてその土壤として“女性の活躍できる場”がありました。

ポートには男の度量の広さが必要になる」と話してくださいました。

## チャレンジ

現在、当社では新しい商品を開発しています。請負業務のみならず、企画・提案もできるよう新たな取り組みにチャレンジしているのです。今年入社した二人の女性に『コスマプリントNEWS』という小冊子を定期的に作成してもらい、取引先への発信を始めました。

また、セミナーなどにも積極的に社員を参加させたいと考えています。

「機会をとると吸収したい」と思るのは、誰しもあるでしょう

本年度は2名の女性社員が外部セミナーへ参加します。スキルや経験を積むのはもちろん、外部との繋がりや人脈を築くチャンスになればと考えています。加えて、外部から自社を見ることで、自分たちを再認識することの重要性を話してくださいました。

## 山本代表の思い



「社員と社員の家族みんなに幸せになつてもらいたい」と山本代表。

社員に支えられての会社であり、また社員の家族を支えるための会社でもあります。

そのためには、社員ひとりひとりが意識を持ち、その根底をしっかりと共有してなつくると教えていただきました。

株式会社コスマプリント  
神奈川県相模原市南区大野台 4-1-58 Sia神奈川  
TEL 042-730-6555 FAX 042-730-6556  
<http://www.cosmoprint.co.jp/>

印刷に關してお困りごとはありませんか?

ものは、「できない」とお断りをしました。しかし、山本代表は常々お客様の要望に応えたいという想いを持っていて、何とか対応できないかと頭を悩ませていたのです。そんなとき、「やりましょう!」と、まず手を挙げてくれたのが女性の熟練工の方々でした。経験に基づくさまざまな技術・工夫を持っている、「こうすればできるのよ」と見せてくれるちょっとした工夫の数々に、「たのもしい」と思ったのです。そのような経緯が、当社の“まず無理とは言わない”と見せてくれるちょっとした工夫の姿勢に繋がっています。

# “飽くなき挑戦”

## 進化し続ける企業

取材・文 若槻愛子

### 田島代表の機敏な経営

半導体ウエハー容器の全自动洗浄装置の設計・製造・販売で世界シェアNo・1を誇る株式会社コンタクトは、昨年8月、将来性のある若い企業として日本経済新聞に掲載されました。2003年の創業時からどのようにして成長を遂げたのでしょうか。

創業前、産業用生産設備メーカーで取締役営業部長をしていた田島敏行代表取締役は、お客様の話から、今は容器の高度な洗浄は需要がないけれど近い将来必ず必要になると直感し、起業を決意しました。この確信はあたり、ゲーム機の大手メーカーからの採用がきっかけ



本社の社員の皆さん。



研究開発センターの社員の皆さん。

で国内のほとんどのメーカーで起用され、次々とシェアを拡大していました。実にスピードで大胆な展開でしたが、決定までのプロセスでは、各部門の責任者と議論を重ね、バックアッププランを立て、熟慮して下した決断に基づいて実行しています。「どんなに優れた製品でも機を失うと価値がない」という想いが、田島敏行代表の行動に現れています。

### 勉強することの大切さを知ったきっかけ

田島代表は学生のころから勤勉で努力家だったのかと思いきや、「高校生のころは、オートバイに乗って、いわゆる悪ガキだった」と笑いながら当時を振り返ります。不勉強の結果、希望の大学への進学は断念。このままではいけないと嘆いていました。

くなるから、装置やサービスのリースのタイミングは非常に重要だ」と田島代表はおっしゃいます。日々勉強して知識を蓄え、目を養い、最新情報を的確にキャッチするところが、経営のスピード化につながっているのです。

### 田島代表の機敏な経営

と思い、専門学校で物理学や数学や電子工学を一生懸命学びます。

田島代表のお父様は「せつかく学ぶならしっかり勉強しなさい」と勉強に専念できる環境を整えてくれました。当時、会社経営していた父の姿はやがて田島代表の目標です。存在となっていました。田島代表は、時にはライバルでもあり、経営の恩師でもあった父をとても尊敬していたそうです。

常に向上心を持ち続けるというのは田島代表の信念です。世界No・1のシェアを維持している当

社ですが、核となる半導体機器からの横展開を目指し、常に最先端でグローバルに通用する会社でいられるよう研究開発を進めています。お客様に対しては、とことん顧客ニーズに応えた装置の能力と品質を提供し、さらに納期を早めるコストを下げるといったプラスαの付加価値を付けることにこだわります。社員に対しても、絶えず勉強する姿勢を保つために資格やテストを定期的に受験させることになります。また、個々のスキルアップが会社全体の力を底上げすると田島代表は考えていましたので、所属している部署の専門知識や語学習得のための教育訓練についてはなっています。そして、取得後は、社員みずから申し出で、部門長の裏議が通れば、資格取得にかかる費用は全額会社が負担することになっています。ながらスキルアップでき、会社にとってはそれが利益につながるのだからお互いハッピーだ」と田島社長はおっしゃいます。

### みんながやりがいをもてる職場

当社は、通常の部門ごとの会議とは別に、発言しやすい環境づくりのために、ピザミーティングなど食事をしながらざつくばらんな会議を定期的に実施しています。また、違う角度での人間性が出てくるので、花見・バーベキュー・ボーリング大会などの交流の機会を大切にし、社員から企画が上がるなど費用をバックアップしています。

女性が積極的に活躍しているのも費用をバッカアップしています。

完成形にならないことが大切

「挑戦してほしい！今はスキルがなくても勉強すれば必ず自分のものになる。常にチャレンジして、みずから多くのものをつかみ取ってください！」

### 田島代表から学生へのメッセージ



セミコン・ジャパン 2012の様子。

株式会社コンタクト  
神奈川県相模原市中央区上溝 2259-3  
TEL 042-777-0299 FAX 042-777-0297  
<http://www.e-contact.co.jp>



クリーンルーム内の世界最高水準の半導体洗浄装置。

洗浄装置の操作の様子





昔から、甲斐代表は利益を出すことに意欲満々。例えば、家を持つとか車を買えるとか、そういうふうに社員が生活レベルをどんどん上げられるような会社にしたいというのが、甲斐代表の夢だそうです。

「頑張つたら頑張つた分だけ返つてこないと、つまらないんですね」

相模カラーフォーム工業株式会社  
神奈川県相模原市中央区上溝 292-1  
TEL 042-778-0288 FAX 042-778-0299  
<http://www.s-foam.com/>

の頃から整理整頓ができていたというわけではありません。片付けに気を配るようになったのは、最初の設備会社に入つてから。先輩たちは、使った道具をいつもきれいにして元に戻すというあたりまえのことを、あたりまえのようにやっていました。

「そういう人は、ものすごくきれいな仕事をするんです」

そこで整理整頓を仕事の基本と考えるようになりました。

現在、10年計画を実施中のこと。とはいっても、代表に就任したのは5年前で、すでに前半戦は終了しています。この5年間で社内のあるゆる整理整頓を行い、やっとおおかたのめどが立つたところ。工場の中もすっかり見違えた今



工場内の作業風景。  
従業員が黙々と作業に取り組む。

### これから5年

#### 学生たちへのアドバイス

当社では、以前、第二新卒をアルバイトとして受け入れました。

彼は大学卒業後、ある会社へ営業マンとして就職しましたが、まったく退職し、しばらくは再就職を考えられずにいました。知人からそのことを聞いた甲斐代表が、彼を採用したのです。

「営業は難しいかもしれないが、器用なので、いろいろなことができる」と、彼の印象を語ります。彼自身も、現在の仕事におもしろさを感じており、今では正社員として働いています。

日このごろ。以前、工場見学に来られたお客様が再度来社され「変わりましたねえ！」と褒めてくださいましたが、甲斐代表を嬉しい気持ちにさせます。

「新しいものは、こっちで自由に値段を付けられるんです。いずれは、皆まねをしてくるが、1~2年くらいは高く売れるんです。」

新しい仕事を開拓していく、これから5年。常に新しいものを世に送り出すことで、利益の確保を目指します。

「勉強したことと実際の世の中は全く違います。ネクタイを締めて会社に行くことだけが仕事じゃない」

「勉強したことと実際の世の中は全く違います。ネクタイを締めて会社に行くことだけが仕事じゃない」

### これまでの5年

扱っている製品が、かさばる性質であるがゆえ、どうしても現場の通路には原材料や仕掛品などが溜まりがち。それを進んで片付けています。

「整理整頓が好き」と、甲斐代表はおっしゃいます。几帳面なイメージのA型ではあるものの、子ども

1970年代半ば、甲斐代表は

渡りに船!?

独立するんだつたら、うちでやつたらどうか?」という話で、当社の経営を引き受けることになりました。これは単なるラッキーではありません。長年の取引の中で培った信用が、先代の代表をその気にさせたのでしょう。

1970年創業の相模カラーフォーム工業株式会社は、主にパッキン材・クッション材・吸音材、断熱材・シール材の加工・販売を行っている会社です。

取材に伺つて、甲斐全吉代表取締役と名刺交換をさせていただき、またその名刺に興味を惹かれました。

かわいらしい亀のマークが両面に描かれています。このマークには、甲斐代表の「派手なことをしないでこつこつ、確実に」という思いが込められています。

知人を頼りに上京し、加工の仕事を始めました。その取引の中に、当社があつたのです。

2006年、約33年間勤めた前

職からよいよ独立しようと準備を進めていたとき、先代の代表から当社四代目代表への就任要請がありました。

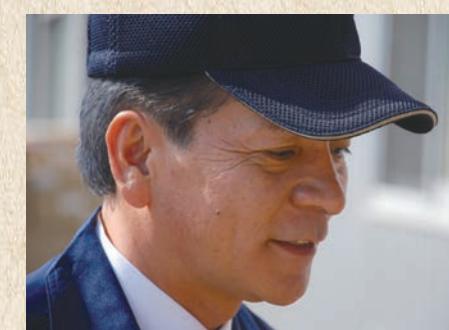
「独立するんだつたら、うちでやつたらどうか?」という話で、当社の経営を引き受けることになりました。



相模カラーフォーム工業株式会社

# 10年後の未来を見据えた改革に挑戦

取材・文 草野 愛



相模カラーフォーム工業株式会社  
神奈川県相模原市中央区上溝 292-1  
TEL 042-778-0288 FAX 042-778-0299  
<http://www.s-foam.com/>

# 急速に市場が拡大するマイクロ水力発電 エネルギーの未来を支える人材を求めて

取材・文 高橋 晴子

## 水力発電の利点

東日本大震災以降、代替エネルギーが注目を集めています。バイオマス・太陽光発電・風力発電・水力発電など、さまざまな可能性が検討されるようになりました。

「太陽光でも風力でも、太陽が照つていたり風が吹いていたりしないければ発電することができます。したがって稼働率が低いのですが、水は安定して流れています。再生可能エネルギーの中で安全かつ安定したエネルギーを提供できるのは水力だと思いますね。もちろん水力発電は設置できる場所が限られますか、メンテナンスすれば少なくとも水車は50年持ちはます。寿

命が長いことも水力発電の大きな利点です。」

田中水力株式会社の田中幸太代表取締役社長はそう語ります。

千キロワット以下の水力発電を

マイクロ水力発電といいますが、

当社は、河川や用水路・浄水場の送水管などに設置して発電するマイクロ水力発電を、設計から工事まで一貫して請け負う座間市にある会社です。

国際感覚を活かした経営手腕をふるう、田中幸太社長。

## マイクロ水力発電のメリツ

今後、マイクロ水力発電は国内の需要が急激に増えると予測されています。『固定価格買取制度』も追い風になり、より高

い価格で売電できるとのこと。この事を契機に問い合わせが激増しているそうです。

水力発電は基本的に“落差”と

“流量”で決まるもの。高い地點に取水口を設けてダムで水を堰き止め、下に流して水車で発電する仕掛けが主です。ところがダムの

ような仕掛けを作ると土木費用がかかります。当社のマイクロ水力

発電は、既存の水路をインラインで利用し、落差や流量の少ない水路でも発電できます。最近増えている設置場所は、浄水場・ポンプ場・下水処理場。河川や流れ込み式の水力発電では水利権の取得に何年間もかかりますが、浄水場やポンプ場では水道局が水利権を所有し



未来に向けた優秀なグリエイションワークが、各界から注目を浴びています。

## 新視点での企業展開

ところで、田中社長は海外で生まれ育ちました。海外では通信企業モトローラのプロダクトマーケティング・マネジメントを担当。旅行気分で来日したことが海外の大企業から日本の中小企業への転身のきっかけとなり、転身当初はかなり苦労もされたようです。し

ているので、設計までの時間が短縮できます。また、水道水のためゴミがないことも大きな利点です。水力発電の心臓部である『ランナ』と呼ばれる水車は、ステンレスといえども砂でぼろぼろになり、穴があく場合もあるとか。水道水であればゴミのないきれいな水なので、ランナが破壊されることはありません。

水車の種類は落差と流量によってさまざまなものがあります。当社のメインはインライン式リンクレスフランシス水車『リンクレ

ン』で、ランナが破壊されることはありません。この種類は落差と流量によってさまざまなタイプがあります。当社のメインはインライン式リンクレスフランシス水車『リンクレ

ン』です。現在までの販売実績は12プラントです。



“一品料理”と称して、全てカスタマイズされる水車には、高度な設計技術が求められています。



田中水力株式会社

神奈川県座間市ひばりが丘 5-18-34  
TEL 046-251-8511 046-251-8749  
<http://www.tanasui.co.jp/>



するそうです。熟練工が多い職場で会社の若返りをめざして、若手の“やる気”を求めています。

当社のマイクロ水力発電は、すべてがカスタマイズによる“一品料理”。その為すべて白紙状態の設計から水車の稼働まで一貫して関わることができ、仕事の達成感が非常に大きいことが特長。

新卒社員も積極的に現地に派遣





10kgの水をしみこませたお米の水分飛ばしの風景。多い時には1日70回を超す作業を行うこともある。

「日本酒はお米の品種や精米に違いはあるものの、杜氏の技術ですべてが決まるといつても過言ではありません」と久保田代表は言います。技術面では、繊細な心づかいで行う原料処理が最も重要で、処理工程でのわずか1%の差が、最終的にまったく違う味を作りだしてしまう可能性もあります。例えば60%に精米した『美山錦』の洗米では、中心にしつかり水を染み込ませて表面の水分を飛ばすことが大切で、浸す時間は毎年お米で変

「安い居酒屋チェーン店もいいけど、ユニークな個人店がなければおもしろくないです」「ライトユーザーは求めていません」と久保田代表は言います。さらに、「現状の設備や人員では、味を守つていくためにもせいぜい500円が限界と思っています」、「自分が回りきれ

根幹に流れるポリシー

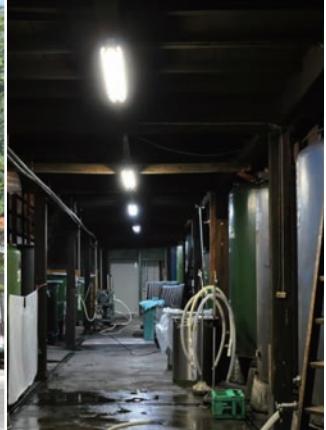
「○○の届く範囲の販売店はいかがですか」と聞かれ、「きません」と話は続きます。

また「相模原」は、都心から時間もあれば訪れるとのでき、「ほどよい距離感」で本当に「相模灘」というブランドや、興味があるユーザーのみを酒蔵まで導いてくれるフィルターになると感じているそうです。したがって、さらに販売促進のために味や品質を変えずに価格やパッケージを変たり、ホームページでの積極的で製品アピールをしたり……は行きません。

これらの話を聞いて、味や品

での自信とニードを感じました  
積極的に宣伝はしないけれど求  
めてきた人を裏切らない、また、  
流行にも揺るがない、そんなブレ  
ない方針を持った日本酒造の姿が  
そこにありました。

取材を終えて：



久保田酒造株式会社

# 若き杜氏が支える “こだわり”の日本酒造 ここにあり

取材・文 美野和君

相模原市内でお米と水を最大限に活かした日本酒「相模灘」を造り続けている会社を存じですか?

それは、原風景にタイムスリッ  
プしたかのような山に囲まれたと

A medium shot of a man with dark hair, smiling and gesturing with his hands. He is wearing a blue zip-up jacket over a dark shirt. The background shows a traditional building with a tiled roof and some greenery.

ゆの法を用ひたるもの

アーティストのための品質管理

く作業によって味や品質を守り  
続けていたことを知りました。  
また、「雑誌やインターネットな  
どで杜氏の血液型が書かれている  
情報があると、各酒造の「ごだわ  
り」が分かりやすいかもしれない  
ですね」と笑いながら言う久保田  
代表は、「石橋を叩いて渡るA型」。  
それほど杜氏の性格が日本酒その  
ものに顯著に表わされやすいこと  
も教えていただきました。

「少しは日本酒を飲んだことのない  
人にもおいしさを知つてもらいた  
いな」という、控えめですてきな  
杜氏が支える「こだわりの酒造」  
を一度訪ねてみたくなりませんか。



久保田酒造株式会社  
神奈川県相模原市緑区根小屋 702  
TEL 042-784-0045 FAX 042-784-2225  
<http://www.tsukui.ne.jp/kubota/>

A photograph of a traditional Japanese room (tatami-ma) featuring a wooden floor with tatami mats. In the center is a low wooden platform (engawa). A dark wooden screen (fusuma) stands in the background, and a sliding door (shōji) is visible to the right. The ceiling is made of dark wood beams.

# 母・妻・そして女性経営者 という生き方

取材・文 古賀千根

製造業には珍しく社長が女性である株式会社ユウキ工業は、小ロット生産や試作に特化した精密板金と溶接の会社です。創業者の長女であり現社長の北澤芳恵代表取締役社長は、経営者と母親という二つの役割を両立されています。その姿を追いました。

## 行動して世界を広げる

北澤社長は学校で情報処理を学んだあと、新宿でのOL生活を満喫していました。当時、父親から「ユウキ工業を手伝ってくれ」との誘いがあり、OLのかたわら経理の手伝いはしていたものの、入社に関しては、親子で働くことに抵抗が

あり、ずっと拒んでいました。最終的にはプライベートには口を挟まないなど、いくつかの条件を出し、当社に入社。当時は「製造業なんて面白いはずがない、女性がやるものではない」という固定観念を持って働いていました。しかし、入社後、4年ほど経つたときに変化は訪れました。



柔らかい笑顔と口調の北澤社長。

限られた人数の中で業務をこなす中小企業。人手不足で必要に迫られて現場に入ってきたところ、考えが一変。ものづくりのおもしろさに魅せられてしまいました。当時は現場では図面を持って走り回っていましたが、北澤社長が情報処理を学んでいたことから、コンピューターを導入し、業務の効率化に成功。やりがいを感じたときでした。やむを得ず飛び込んだ“ものづくりの世界”でしたが、持ち前の好奇心と行動力で自分自身



の世界を広げていきました。

入社して12年。以前から「60になつたら退く」と明言していた結城昌臣会長の言葉どおり、社長の座はバトンタッチされました。はじめは、当社で働くことさえ拒絶していた北澤社長が「私がやらなければならぬ！」とみずから強い意志で社長に就任。製造業での女性経営者の道が始まつたのです。

経営者になつてまず感じたのは責任感の重さ。自分でものごとを決める行為の重み、社員だけではなく、他の人にに対する優しさ」の両面を併せ持つ女性だと感じました。

ひとつ目に、働くことで自分自身が社会の一員として存在できるのが楽しいということ。経営者として母親として、前向きに進む姿が印象的でした。

働く人にとつて気持ちのいい空間は女性の感性を経営に取り入れた結果でした。

ひとつひとつ言葉選び、柔らかい口調で語る北澤社長。「経営者としての芯の強さ」と「家族などの人に対する優しさ」の両面を併せ持つ女性だと感じました。

## 学生への三つのメッセージ

一つ目に、働くことで自分自身が社会の一員として存在できるのが楽しいということ。

二つ目は、固定観念を捨ててやってみたら、楽しいことがあるかもしないので、勇気を持って行動してみてほしいということ。

三つ目は、企業規模の大小に関わらず、自分なりの仕事は楽しいということ。

ユウキ工業を訪れたとき、ひと際、シンプルな社屋が目を引きました。外から見ると、一見シンプルなりソートホテルのよう。「工場らしくない工場」をコンセプトに「デザイナーズマンションション」を設計する会社にデザインをしてもらいました。

全体的に天井が高く窓が大きいため開放感があります。広い玄関にはページュのタイルが敷かれ、2階にある食堂はモダンなカフェのよう。2階に上がってきたときに、仕事と違う世界があるようにしていという思いを具現化しました。

また、家事はすべて自分でこな

た。

リゾートホテルのようなこだわりの社屋。



1階の工場と2階のパレコニー。

## 株式会社ユウキ工業

神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1  
TEL 042-700-8070 FAX 042-779-8702  
<http://www.yuki-k.co.jp/>



タイにある2つの自社工場では、450人を超える現地スタッフを雇用。

### 連綿と続く企業

中村代表は今後、ご子息のうち、兄の英寛氏を代表取締役に、弟の

う5年、悲しい出来事が襲います。共同経営者の親友が交通事故で亡くなつたのです。婚約者とデートしたあと朝まで仕事をして、帰宅後に風呂に入り、再び車で職場に向かう途中でした。信号待ちのトランクにノンストップで激突。「もうこれで終わりだ」と中村代表は絶望します。その中村代表を変えたのは「中村さんもしあなたがこのまま仕事を辞めたら、息子は30歳で大死にですよね」という親友の母親の言葉でした。ハンマー

で頭を殴られたようなショックを受け、死ぬ気で仕事をすると誓いました。

「やばいよねえ、天国で彼がみているんだから。天国からすばらしい人とのめぐり合わせをつくってくれている気がしますよ。」

中村代表は朝晩、親友のために仏壇に手を合わせないことはないといいます。なぜなら親友である彼とコンタクトできるのは、もうそこしかないから。11月7日の命日には、必ず新潟の墓標の前で彼の死を悼み、経営者のうぬぼれや気持ちの揺れをリセツトするそうです。偶然ですが、親友が創業時につくった経営理念は、「物心両面の幸福を追求すると同時に、人類社会の進歩発展に貢献する」といいます。京セラの稻森和夫氏が掲げた理念と重なることに気づき驚かれたこと。あの時代、同じ志のもとに働いていたのです。

創業時代から支えてきた奥様は常務として経営に残るよう、40年間いっしょに働いてきた同僚たちに「これからは息子たちの時代だからな。オレには相談するな」と宣言したところ、相談も減り、「それも寂しいですよ」と中村代表は

朗らかに笑われました。

といつても中村代表はアグレッシブに活動されています。厚木市商工会議所の副会頭を務めたり、「REGOの会」を結成したりしました。REGOの会とは、中村代表がお世話になったオーナー社長の息子たちを中心とした20人のメンバーで構成される、工業界才人リー、年齢が45歳以下、同じ価値觀を持つ行動できる会員の集まりです。このようなつながりが、明日の厚木市の企業、そして次の産業を切り拓いていくのではないでしょうか。

株式会社大和ケミカル  
神奈川県厚木市上依知 1405-3  
TEL 046-245-3871 FAX 046-245-7109  
<http://www.yama-chemi.com/>



## 株式会社大和ケミカル 会社、地域、そして世代をつなぐ人間の絆 後継者を育成する経営者の想い

取材・文 高橋 晴子

**危機感から独立**  
中村代表は工業高校の機械科を卒業し就職。6年間、三菱・トヨタ・日産など自動車部品の試作を担当していました。しかし、親友と仕事場をぶらぶらしながら「オレたちこんなでいいのかな。いま同世代が汗



ところが「窮地その場その場で、や涙を流しながら必死にがんばつてているかもしないぞ。10年後には連中とはえらい差をつけられる。これ怖いよな。」と話をするうちに、親友と会社を飛び出すことを決意。経営の「け」の字も知らない無謀な独立でした。

企業にはさまざまの人間関係の「絆」や「縁」から生まれるドラマがあります。そして家族経営の中企業だからこそ熱いドラマが生まれるもの。「波乱万丈の40年間だった」と語るのは、株式会社大和ケミカルの代表取締役中村幹夫氏。当社は厚木市にあるゴム・プラスチック部品の製造を行なう会社です。

### 突然の計報

しかし、順風満帆というわけではありませんでした。会社設立から

り受けたので、スタート一年目から利益を出しました。

ところが「窮地その場その場で、すばらしいひとが自然に現われて助けられた」と言います。金型屋の社長から「独立するなら機械を全部買ってやるよ。あるとき払い返せよ。」と支援があつたり、工場の土地を貸していただいたり。タイに工場を設立するときにも、大先輩のアドバイスを得て、人脉で場所を確保するとともに自動車はお下がりを入手。商社機能も譲り受けたので、スタート一年目から利益を出しました。

### 温かい支援

ところが「窮地その場その場で、や涙を流しながら必死にがんばつているかもしないぞ。10年後には連中とはえらい差をつけられる。これ怖いよな。」と話をするうちに、親友と会社を飛び出すことを決意。経営の「け」の字も知らない無謀な独立でした。



代表取締役の中村幹夫氏(左)と次期社長の中村英寛氏(右)。太陽の様な笑顔のお二人には経営者としての熱い血が流れています。



株式会社大和ケミカル  
神奈川県厚木市上依知 1405-3  
TEL 046-245-3871 FAX 046-245-7109  
<http://www.yama-chemi.com/>



社員旅行でハワイへ。社外でのコミュニケーションを活発にすることが仕事にもいい影響を及ぼし、チームで高い成果を出すのです。

新開発で  
挑戦できる環境

また、社員の士気を高めている要因として、お客様である大手企業からのお委託で新しい機器開発をするチャンスがあるといたします。大手企業の社員と対等に研究開発する場で、社員たちは切磋琢磨し、多くの刺激を受けているそうです。

社員は中途採用かほとんど立心が旺盛で、自分の実力を發揮したいと考えている人、枠にはまらない個性的な人が多いとのことです。「エンジニアとしておもしろい仕事をしたい人たちが自然と集まってくる。自分はエンジニア出身ではないので、このようなエンジニアたちをマネジメントすることはできない、自由にやってもらつ

にまかせ、権限を与えて  
いらっしゃることによって、威力  
の場合もあります。一方  
いうことは失敗する可能  
性です。失敗すれば、お客  
をかけ損失が出てしまう  
そのようなリスクもあら  
まとめて、小西会長は、「社  
会に發揮できる場」を作つて  
います。

大手ではできない技術の継続

取引先の大手企業は、30代も半ばになると「マネジメントの役職」になります。そうすると、現場での技術の継続性がなくなってしまいります。

たして勉強させてもらっている良い機会。経験したことの多くは技術として社内に残る。」  
また、「よくできる技術者がある」と、周囲の社員も引き上げられる」と小西会長は語ります。



株式会社 ハウ

# 自律的に動く ハイパフォーマンス 技術者集団

取材・文 古賀千根

安心して働く環境へ

その技術者たちがどのように士気を高め、結果を出しているのかに迫りたいと思います。

造工程は持たず外部に委託しています（ファブレス企業と言います）このファブレス企業で最も重要な役割を担うのは、設計をする技術者たちです。「特に教育はしていない」と小西典夫会長は言うものの、ひとりひとりの技術力が高く、自律的に動き、当社の売り上げを

株式会社ハウは、"つなぐを創る"をコンセプトに、産業用ネットワーク機器・産業用通信機器などの企画・生産・販売をする企業

黒字であれば、経常利益の1／4を決算賞与として社員に還元しています。会社の経営状況を知らせ生活に不安を与えない、安心して働ける環境作りこそが経営者の仕事と捉えています。

職場づくり



株式会社 ハウ  
神奈川県相模原市中央区千代田 1-11-17  
TEL 042-753-3616 FAX 042-769-7300  
<http://www.how.jp/>

# お客様に、社員に “真剣に向き合う” “求めるものに答えていく” 姿勢が 求心力を生む

取材・文 古賀千根



スポーツマンの小和田支店長。

相模原市中央区にある蒲田ゴム

株式会社は、ゴム製品・合成樹脂の専門商社です。創業以来、一貫して組織に根付く真摯な姿勢が会社の繁栄に影響を与えています。その秘密に迫つてみたいと思います。

## 蒲田ゴムのはじまり

創業75年。蒲田ゴムのスタートは、リヤカーで廃品回収をすることから始まりました。第二次世界大戦前の昭和12年、当時は車もない時代。現社長、亀田元秀代表取締役社長のお父様が墨田区で商売を始めました。廃品の中でも特にゴムと金属の引き合いが多いところに目をつけ、ゴムを取り引きを開始、



ゴム製品は様々な場面で使われます。



ゴムをカットし、加工する機械。

当社が誕生しました。

経営理念は“誠実”。お客様と“真剣に向き合い”、お客様の“求めるものに答えていく”ことを

モットーとしています。その姿勢は、リヤカーで商売をし、お客様のニーズを的確にとらえることにビジネスのヒントを見出した創業当時の姿勢と変わりません。お客様との接点である社員の存在が重要で、製品の知識をベースにしながら、お客様が何に困っているのか、何

リヤカーで商売をし、お客様のニーズを的確にとらえることにビジネスのヒントを見出した創業当時の姿勢と変わりません。お客様との接点である社員の存在が重要で、製品の知識をベースにしながら、お客様が何に困っているのか、何に困っているのかなど要望を引き出す“ビアリング力”と、的確に答える“提案力”が営業活動のポイントになってきます。

提案力向上のために『社内スピーカコンテスト』を年に2回開催しています。きっかけは約3年前、環境マネジメントの国際規格を取得し、今後、全社一丸となって環境に配慮した製品を販売していくこと決まったときでした。地球温暖化や資源の枯渇など環境破壊が進む中で、当社としては後世に豊かな自然を残すために、環境への負荷を低減する取り組みを経営方針として決めました。全般的に環境に対する理解を深め、意識を高めていく一方、環境という目に見

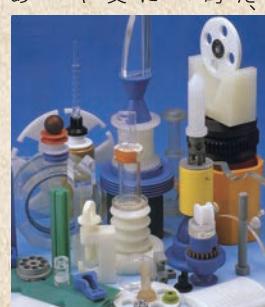
えにくい付加価値のついた製品を販売するには、“伝える力”を身につけることは必須となってきます。

亀田社長には社員が本当にこの価値をお客様に伝え、お客様から理解いただけているのかという疑問があり、幹部会である営業社員がセールストークをさせました。社長の前で説明できなければ、営業先で話せるはずはありません。これがきっかけとなりスピーチコンテストへと発展していきました。

## 社長面談はアピールの場

社員はお客様に対しても“真剣に向き合い”“求めるものに答えていく”ことを実践しています。そのための取り組みとして年

に2回、社長みずからが



品質にこだわった工業用樹脂製品。

本社の蒲田、支社の相模原・茅ヶ崎・福島を一社

に2回、社長みずからが

向き、一人あたり30分、1時間かけて全社員と面談をします。亀田社長は、

全社員の考え方を理解で

きなければ、社長として成り立たないと考え、就任以来、27年間続けています。普段はぶっきらぼうな社長ですが、面談や会合など、社員と接する場では饒舌にお話をします。一対一で話することで、社員との距離が縮まっています。また、コンテストでうまい人のスピーチを聞くことが自分自身のスピーチの向上や情報共有にもつなっています。こうした取り組みの結果、信頼を得て、お客様の心をつかんでいくのです。

きなければ、社長として成り立たないと考え、就任以来、27年間続けています。普段はぶっきらぼうな社長ですが、面談や会合など、社員と接する場では饒舌にお話をします。一対一で話することで、社員との距離が縮まっています。また、面談では社員から社長への個人的なアピールもできます。例えば、新たに新規の営業先開拓を目的に遠方へ出かけるとき、宿泊費や交通費などは会社負担でも、休憩や宿泊先での食事などは個人負担で予想以上に出費がかさむことがあります。そういう細かいことは経営トップでは分かりづらいことですが、社員が面談で社長に直接意見を言ったことで、営業手当上げてもらうことも実現できたそうです。社員も社長に話を聞いてもらえたことで不満がたまらないのです。こうした上からでもなく下からでもない当社の企業風土が、結果、社員

の中に社長・会社に対する忠誠心を醸成しているのです。

社員はお客様に対しても“真剣に向き合い”“求めるものに答えていく”ことを実践しています。そのための取り組みとして年

に2回、社長みずからが

向き、一人あたり30分、1時間かけて全社員と面談をします。亀田社長は、

全社員の考え方を理解で

きなければ、社長として成り立たないと考え、就任以来、27年間続けています。普段はぶっきらぼうな社長ですが、面談や会合など、社員と接する場では饒舌にお話をします。一対一で話することで、社員との距離が縮まっています。また、面談では社員から社長への個人的なアピールもできます。例えば、新たに新規の営業先開拓を目的に遠方へ出かけるとき、宿泊費や交通費などは会社負担でも、休憩や宿泊先での食事などは個人負担で予想以上に出費がかさむことがあります。そういう細かいことは経営トップでは分かりづらいことですが、社員が面談で社長に直接意見を言ったことで、営業手当上げてもらうことも実現できたそうです。社員も社長に話を聞いてもらえたことで不満がたまらないのです。こうした上からでもなく下からでもない当社の企業風土が、結果、社員



蒲田ゴム株式会社 相模原支店

神奈川県相模原市中央区矢部2-17-20  
TEL 042-752-7678 FAX 042-759-2772  
<http://www.kamata.gomu.gr.jp/>



インキュベーションセンターに入居するF-Designの社内風景。近代的なイメージのあるオフィスで、ベンチャー企業が育っていきます。

藤本代表が目指している会社のレールとして、自社製品の開発があります。

#### 会社としての想い

「学生さんに向けてのメッセージなどはありますか?」という問い合わせに対し、「やりたいと思えば、自分の活躍できる」と答えた。

#### 将来の想い

「自分はレースに携われる仕事がしたい。卒業と同時に車の設計をメインとする企業で技術を磨きます。しかし、そのときから自分で決めた人生のビジョンがありました。それは社会人10年で独立を、その後35歳で会社を作るというものです。

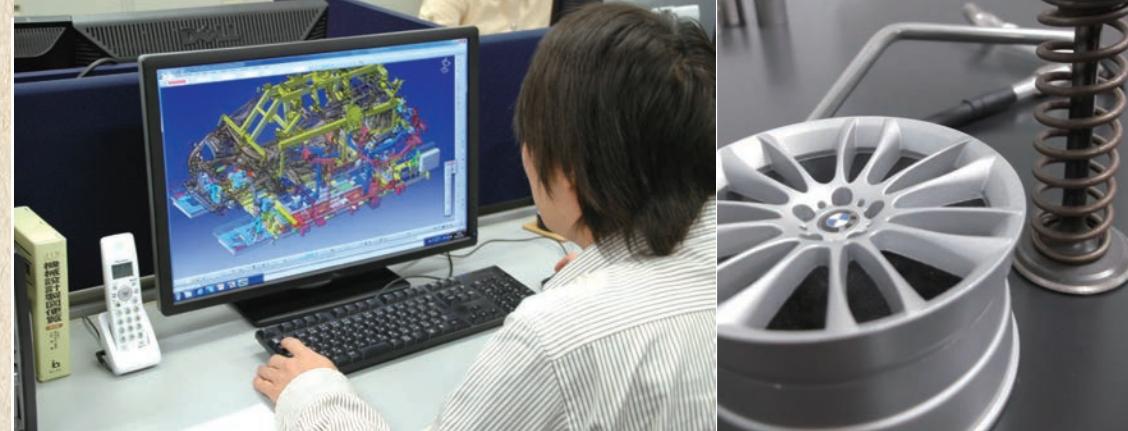
シャーがあつて精神的に厳しかった」と藤本代表。日々、模索しながらの仕事が続きました。そこで、「ビジョンを持ち行動する」ということを継続し、見事35歳のときに当社を立ち上げることができたのです。

これまでの車の設計開発で培った幅広い経験に裏打ちされた設計勢20名を超える設計集団となっていました。

受注業務は、大手企業からの発注增加という環境変化の後押しもあり、順調に伸びていきました。藤本代表は「一步一步石橋を叩きながら進んでいたら、6年もたつてしまつた」とコメントしますが、一人の技術者が始めた会社が、従業員7名、契約社員4名、ペトナムの設計契約企業を含わせると総勢20名を超える設計集団となっていました。

今では得意の車関連の事業以外にも、医療・アミューズメント・一般機器・3次元での設計など事業の幅も出てきました。

また単なる設計を請け負う会社ではなく、企画から参加して顧客提案する企業へと変化しつつあります。



## 株式会社 F-Design

# 夢を持った経営とは

取材・文 草野 愛



### 起業というビジョン

藤本介代表取締役は学生時代から、ある希望を持っています

若くて小さいベンチャー

株式会社 F-Design は中小企業のインキュベーション(起業・創業支援施設である「株式会社さがみはら産業創造センター」)に入居する若いベンチャー企業です。若くて小さい企業はよく周りの環境変化の波に翻弄されるのですが、この企業は経済という荒波をしっかりととした指針を持って渡っています。その航海で使っている羅針盤を今回は探つてみたいと思います。



### 若くて小さいベンチャー

自分はレースが好き。そんな

レースに携わる仕事がした

い。

卒業と同時に

車の設計をメイ

ンとする企業で

技術を磨きます。

しかし、そのときから自分で決めた人生のビジョンがありました。それは社会人10年で独立を、その後35歳で会社を作るというものです。



入社した会社での仕事は多種多彩。その中で、念願のレーシングカーの設計・開発にも携わること

ができます。社会人10年目までに、設計・開発に関する多様な経験を積み、予定したとおり独立、個人事業を始めました。しかし、このとき今まで技術系の仕事しかしなかつた藤本代表に、経営・経理・営業などの未経験であった業務が一齊に押し寄せてきたのです。

「当初は本当にやつていけるかどうか不安で、凄いプレッ

し、このとき今まで技術系の仕事しかしなかつた藤本代表に、経営・経理・営業などの未経験であった業務が一齊に押し寄せてきたのです。最初は本当にやつていけるかどうか不安で、凄いプレッ



きる場が会社には必ずあるはずで

す。意欲を持つて動いてほしい。」

と回答をいただきました。

当社ではこの言葉が実践されて

ました。資金もなかなか余裕がつかないベンチャー企業としては、政府からの開発助成金獲得なども視野に入れつつ、新しい製品を開発するための作業を日々行ってきました。医療・福祉・災害対応など多々挙がってきた新製品開発テーマから、現在は福祉分野での新製品を設計する方向で動いています。社員も日々の忙しい業務の中から、この新製品開発の時間を捻出しています。取材させていた

だき、チームの意気は高く、素敵

な製品が生まれられるのではないか期待を持ちました。「3年後ぐらいには自分たちの製品を持つ予定」と藤本代表は話します。

「5年か10年先には

20名から30名程度のこじんまりした会社で、こだわりの製品を独自ブランドで世に出せたらいいな」

ビジューンのしっかりしたこの企業はこれからも想いを形にしていくことでしょう。

株式会社 F-Design

神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21 SIC1-202  
TEL 042-707-7139 FAX 042-770-9207  
<http://f-ds.jp>



ノンアップにつながったのです。  
また、失敗した場合は叱らずに、  
そこから何を学んだのかを重視し  
ています。人間は間違いをするも  
のだから幅広く許容しなぜそれ  
が起きたのかを検証して、同じこ  
とが起きないよう記録していくま  
す。



“海老フライを揚げた油で、車が走る!?” 回収車を採用することで地元へのPRとなっている。



ベストトレーディング株式会社  
神奈川県厚木市金田 1141-3  
TEL 046-297-5337 FAX 046-297-5338  
<http://www.best-trading.co.jp/>

生懸命やつてくれます。障がい者になつて、健常者だけの職場のほうが、人間関係が複雑で難しいことに気付きました。」とおっしゃっていました。

多くの企業では、障がい者の割合が低く孤立することもあるようですが、当社は、給与・昇給・昇職は健常者と同じ条件で、聴覚障がい者が工場長として活躍する現場もあります。聴覚障がい者の耳が聞こえないという個性が、騒音のあふれる現場も気にならないと、いう長所になり、知的障がい者のピュアな心が、職場を和やかにし

てくれるのです

ユニークな社員教育

当社では工場見学の受け入れを積極的に行っており、厚木市内の小学校をはじめ、『子供会』など年間数十の団体が見学に訪れています。子どもたちは素直なので、清扫が行き届いていないときには臭いに対し敏感に反応します。そういうふた反応を見てから、社員たちは自主的に職場環境の改善をするようになりました。5S（整理・整頓・清潔・清扫・素养）などの業務研修ではほとんど成果が見られ

未来の子どもたちへ  
伝えていきたい  
**環境保持の願い**

リサイクルへの関心を高めてもらいたために、ペレットをメーカー（ゼブラ株式会社）と共同でボールペンとして再生し、キャップを收集してくれた団体や工場見学に訪れた子どもたちに配っています。回収後に製品化されたものを見せて、『リサイクルの見える化』を実現しているのです。他にも、環境学習会を開催したり、廃食油から作られた堅油の代価燃料で走るかわいらしいイラストの回収車が駆け回っていました。幅広い活動が地元でも注目されている企業です。



取材・文 若槻愛子

# ベストトレーディング株式会社 ニーズに応えるうちに 辿り着いた独自の企業理念

“ノー”と言わなければ、  
営業不在でも仕事の受注が  
次々やつてくる

厚木市郊外の工業地域の中に  
ベストトレーディング株式会社は  
あります。従業員の笑顔でのお出  
迎え、手入れの行き届いた花壇  
社内全体が温かい雰囲気であふれ  
ていました。

数多くあり

すが、設備のメンテ

障がい者と健常者の地位の  
ないコミュニケーション



福祉事務所で働く障がい者が手作業で作った  
点字入りの名刺を採用。障がい者雇用支援に  
つながっている。



ペットボトルを破碎して  
再利用する

サンスに手間がかかるため、ほとんどの業者が破碎でとどまっています。しかし、国内での循環型社会を目指している当社は、更に粉砕→洗�虑→乾燥という工程を経て最終的に繊維として再生できるランク製品『ペットフレーク』の生産作業で作った職者雇用支援に

聴覚障がい者が半数を占める職場ですが、手話ができる者は一人もおらず、身振り手振りで伝えてます。「なかなか指示が伝わらなくて、もどかしくないですか?」とお尋ねしたところ、「彼らは心の中をストレートに表すし、言葉の裏を読むことがあります。指示伝達に時間がかかるときもありますが、一度伝われば

製造を実現しています。華谷俊樹取締役社長はお客様からの依頼に対し、「できない」とは言いません。常にで

# 情報ビジネスに一直線 卓越した先見性

取材・文 高橋 晴子

## オンラインビジネス

株式会社プランテックは、女性経営者である三澤奈生代表取締役社長率いる、マスマディア情報の調査・分析・編集などを行っている企業です。テレビ・ラジオ・インターネットなどから、楽曲オーディオや露出情報などのデータを抽出、分析。独自取材なども加えながら、情報を活用できる形に加工しています。また、近年ではBillboard Japanなど、インターネットによる音楽情報発信も手掛けています。

取引企業は日本のほぼすべてのメジャー・レーベルを網羅。“情報



昔の飛び込み営業が財産と語る三澤社長。

## 奮闘する女性社長

三澤社長はもともとソフトウェア開発企業を経営。当時はまだMS-DOSという黒い画面にコマンドを入力してコンピュータを使うシステムが主流でした。近隣の企業を一社一社訪問し、工程管理・販売管理・CAD/CAMソフトなどを販売していました。当時のPC業界は急激に変化を遂げている時期でした。三澤社長は新OSであるWindowsの発売でPCパッケージソフトが主流になる傾向を予見し、会社の経営方針の変更を画策します。

## 驚くほどの先見性

社長は「番組で流れている音楽の題名を知りたいというニーズも結構あるのではないか」、「溢れている情報を管理するとおもしろいのではないか」と考えました。「世の中の情報を集めて加工し、メタデータ（データに関する情報をさらに付加されたデータ）として活用できる形で世に出していく」といいます。

早速、各企業に声掛けをし、非當利法人である『マスマディア協議会』を立ち上げます。それがあわせて、今までのソフト開発事業か



駅前に位置しながら、閑静なたたずまいのオフィス。窓から見える緑の木立が、社内の落ち着いた雰囲気をかもし出しています。

らメディアマーケティングに関するメタデータ事業に業務をシフトさせていきます。しかし当時は、まだまだ情報関連のビジネスは黎明期。ビジネス開始から一年半ほどは売り上げゼロの日々が続きました。

それでも“この新しいビジネスは絶対にモノになる。モノにする”という熱い想いを持った三澤社長は、ひるみませんでした。銀行からお金借り、背水の陣でビジネスに臨みます。東京を中心とするレコード会社・テレビ局への営業を根気よく続け、ようやくビジネスとして形ができるようになってきました。

当社では一味違う家庭での温かみを持つた社員管理を行っています。『一名の採用で、その家族にも影響を与えることになります。その責任をしっかりと持つことが経営者には必要。』と語る三澤社長。

正社員であれアルバイトであれ、母親のような目線で接するのが三澤流人材対応術といえます。

女性は結婚・出産・子育てと大きな時期が続くので、在宅業務や、のちに職場復帰ができるバスを用意しています。



株式会社プランテック  
神奈川県相模原市緑区橋本2-17-21AYAビル  
TEL 042-774-1466 FAX 042-779-2624  
<http://www.billboard-japan.com>





「自分の頭で考えて行動する集団にしたい」と語る、石川代表（左）と高村工場長（右）。技術者として自力をつけ“ものづくり”に挑める環境が自然とできあがっています。

社員教育や人材育成に力を入れ、個々に適したキャリアプランを作成する環境を積極的に提供し、その実現のためさまざまな取り組みをしています。

小さなメーカーになりたい

者としての自信がつ

日本は、やがてはいのものを持つていかなきや」と石川代表は言います。

「当社は技術の伝承を目指している」「学びたい人は門戸を開けて自由にやってもらっている」とも。

社員教育や人材育成に力を入れ、個々に適したキャリアプランを作成する環境を積極的に提供し、その実現のためにさまざまな取り組みをしています。

例えば、外部のアドバイザーに依頼し、新しい技術を習得する場を提供しています。

品をつくり、技術力を高めてきました。  
また、製品つくりに重要なのは、長い年月をかけて積みあげた材料の調達・熱処理・表面処理の協力メーカー様とのネットワークです。秋田工場の高村孝栄工場長は「製造ラインが止まると大きな損害になりますから」、「気がつくと一心

この言葉から、技術者としての誇りと自信を感じ、心から仕事を楽しんでいることが伝わってきます。

“ワクワク感”を持ち毎日仕事に取り組めるのは本当に幸せなことだと思います。結果として、取り組み方から鍛錬し生まれた“技術力”が当社の強みとなっているのです。

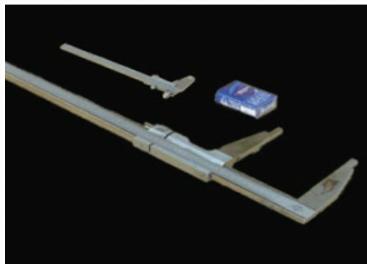
また、ものづくりの技術のみならず個人のヒューマンスキル向上にも力を入れています。中堅社員・リーダー職・管理職に分け、目標策定する機会を提供しています。

若林俊雄総務課長は「ここは風通しのいい環境だから」「押し付けしないけど聞けば応えてくれる環境だから」と言います。



# 株式会社協和精密工業

# 技術を売る会社を目指す



取材・文 小出有紀

起業の原動力

株式会社協和精密工業は、町田市にある精密機械加工メーカーで、"技術の伝承"と"人材育成"に惜しみなく投資する会社です。

ワクワクする仕事

「変な図面がたくさんきますが、ワクワクするんですよ！」と石川代表は言います。



株式会社協和精密工業  
東京都町田市常盤町 3245  
TEL 042-797-0717 FAX 042-797-5477  
<http://www.kyowa-precision.co.jp/>



優秀カイゼン提案。社員のやる気が見えます。

ことで、自分で考えて問題を解決する力が身についてきます。今では、目標を掲げればみずから動く「自立した社員」が育つているそうです。仕事だけではありません。人生においても、壁にぶち当たったとき人のせいにするのではなく、どれだけ自分で解決策を見出せるかで道が開けるかどうかが決まる。解決力を身につけることで自由になるのだ。」と久保社



株式会社オーエイ  
神奈川県相模原市中央区田名 3039-16  
TEL 042-762-4021 FAX 042-762-4027  
<http://www.oei.co.jp/>

か語をかべる。レバー。カイゼン活動のレベルアップとして、ステンレスでバイオリンを製作するプロジェクトを実施しました。複雑な形状をしたバイオリンを製作するには、高い技術を要します。これまでの金型加工・曲げ加工・溶接加工に加えて、新たに研磨技術の習得が必要になってしまいます。全社一丸となつて取り組み、板金加工の総合力を競つ『優秀板金製品技能フェア』で技能賞を受賞しました。こうして、大学との連携により、社員が同じ目標に向かつて、コミュニケーションを取り、技術を高めようになつた結果、当社は新しく生まれ変わりました。

みんなが自分で考える職場

— Eを導入したことでの、自分で  
考える姿勢が身についてきました。  
「つまらないことでもいい。右に  
あるものを左に動かすだけでも力  
イゼンになるんだよ」と社員に投  
げかけた結果、一年間で2000  
300件ものカイゼン提案が提出  
されるようになりました。一ヶ月  
に一回、賞状と金一封で効果の大  
きい改善を行ったチームを表彰  
さらには一年間の中で、優秀な改  
善を行った個人への表彰もします。  
このような取り組みが社員のやる  
気を促しているようです。

働き方をみんなで考える

長は言います。IE導入は人生を自由に生きることにもつながっているのです。

長は言います。JE導入は、人生を自由に生きることにもつながっているのです。

## 働き方をみんなで考える

自分で考える風土ができるあがつて、いる当社では、働き方についても、意見を出し合いながら自分たちでつくり上げていきます。仕事と子育ての両立を支援する体制が整っている企業として『かながわ子育て応援団』に認証・登録され、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。例えば、子ども出生時まで休暇を取得できる制度や、3歳

以上小学生未満の子を持つ社員を対象とする短時間勤務制度を導入しています。また、社員参画によるワークライフバランス委員会を設置し今後はますます社員の目線でできる「仕事もプライベートも両立できる職場環境」が整っていくようです。

今後10年間で、社員を70名規模にまで増やし、事業を拡大していく計画を立てています。雇用においては若い世代や女性を積極的に取り入れていきたいと考えています。さらなる飛躍を目指すべく、社員の人間性教育をし、技術を高め、そしてみんなが働きやすい職場環境づくりをしているのです。



株式会社才一工イ

産学連携が  
技術と人間性を高める!

取材・文 古賀千根

青山学院大学の松本俊一教授との出会いは2004年。ちょうど、社会内改革をすべく、『カイゼン活動』を取り入れようと考えていたところでした。カイゼン活動とは、製造現場で日々第一線で働くことを尊重して、問題

A photograph of an open book. The left page contains Japanese text. The right page has four small photographs attached to it. One photograph shows a person in a white lab coat, another shows a close-up of a specimen, and the others show various objects or scenes related to the research.



## 産学連携の成果である学生の論文。

家庭のキッズインでよく見られる換気扇フード。このステンレスをはじめ、金属の薄板を曲げ、接合部を高く熱で溶かして継ぎ合わせ、塗装し、一貫生産しているのが株式会社オーライです。当社は中小企業では珍しい、民間企業と大学が連携をして研究開発や事業を行う「产学連携」に取り組み、成果を出していました。

大学との連携

青山学院大学の松本俊之教授との出会いは2004年。ちょうど、社内改革をすべく、『カイゼン活動』を取り入れようと考えていたところでした。カイゼン活動とは、製造現場で「常日暮あき」を責め直す「京西合ハバ合ハム」といふ。

松本俊之教授は、人間工学の専門家として、人間の動作や行動を分析する「E（インダストリアル・エンジニアリング）」という手法があります。Eとは、人が行う作業方法・作業時間・細かい動作などのさまざまな作業をいかに分析するかという手法です。こちらを研究している松本教授は、「人がEを通して働く力・考える力を身につけることで、夢を実現し、幸せになる」という考え方を根底に持っていました。そもそも、導入の目的を「自立した社員を育てる社員教育」と考えていた久保誠代表取締役社長との考え方が一致し、松本教授との付き

# 編集後記



“やり続ける”そして“想いをこめる”。この取材を通してこれら の言葉を再認識した気がしました。忙しい日々だとどうしても時間と 目先の処理優先、そんな中で目に見えなくとも何事にも想いをこめ る、日常でも仕事でも忘れないでいたいと思いました。

“やり続ける”そして“想いをこめる”。この取材を通してこれら の言葉を再認識した気がしました。忙しい日々だとどうしても時間と 目先の処理優先、そんな中で目に見えなくとも何事にも想いをこめ る、日常でも仕事でも忘れないでいたいと思いました。



『いくコトなび』づくりで出会つた人・会社、最高でした。感謝しています。ちゃんと読んでね～。いい会社見つかるといいね～！世界に羽ばたけ～！羽ばたくぞ！

## ●畠山 真里

『いくコトなび』づくりで出会つた人・会社、最高でした。感謝しています。ちゃんと読んでね～。いい会社見つかるといいね～！世界に羽ばたけ～！羽ばたくぞ！

## ●若槻 愛子

『いくコトなび』づくりで出会つた人・会社、最高でした。感謝しています。ちゃんと読んでね～。いい会社見つかるといいね～！世界に羽ばたけ～！羽ばたくぞ！

## ●サポーター

早野 寿一	外岡 浩
山田 晃裕	嶋田 葵
貫井 政文	北野 孝志
五島 康人	林 亮宏

## ●高橋 晴子

“前進・チャレンジ”。この姿勢が発展へと導くのを目の当たりにしました。困難を好機に変えた企業の物語に感動！含蓄のある社長の言葉に感動！企業経営にはドラマがある、そう感じた取材でした。

## ●小出 有紀

いいコト発見しました！取材を通じて、キラキラと輝く目をした大人に出会えました。好奇心を忘れずに、ワクワク感を持つて仕事に取り組む働く人たちが大好きです。ますます日本の“ものづくり”を応援したくなりました。

## ●草野 愛

今回の対談取材を通して、就職活動のためにリアルな企業情報は欠かせないと感じています。知らざる優良企業が、相模原及びその近隣にたくさんあることを、初めて知りました。この冊子が、皆さんのお役に立てる幸いです。

## ●君野 和美

“やり続ける”そして“想いをこめる”。この取材を通してこれら の言葉を再認識した気がしました。忙しい日々だとどうしても時間と 目先の処理優先、そんな中で目に見えなくとも何事にも想いをこめ る、日常でも仕事でも忘れないでいたいと思いました。